

News Release

2016年10月26日

**公益財団法人東京都環境公社の「シティチャージ普及促進事業」設置事業者に選定
高効率な化合物太陽電池でスマートフォンを充電^{※1}できる
椅子型「ソーラー充電スタンド」を開発**

シャープは、高効率な化合物太陽電池が発電した電気をスマートフォンなどの充電に利用できる椅子型「ソーラー充電スタンド」を開発しました。今般、公益財団法人東京都環境公社(以下、東京都環境公社)が再生可能エネルギーの普及啓発に向けて推進する「シティチャージ普及促進事業」の設置事業者に応募し、採用されました。東京都環境公社を通じて、東京都内のコーヒーショップ3店舗に10月下旬より順次設置される予定です。

今回開発した椅子型の「ソーラー充電スタンド」は、背もたれの裏側に人工衛星などに採用されている高効率な化合物太陽電池を搭載しました。約30%^{※2}の高い変換効率を実現しており、テラス席など屋外に設置することで効率良く発電します。利用者は座ってコーヒーを飲みながら、手軽にスマートフォンなどを充電することができます。また、発電した電気は、座面の下に搭載した蓄電池に蓄えられるので、日照量が少ない時でも利用可能です。椅子型なので移動も簡単です。

当社は、昨年も東京都環境公社の同事業の設置事業者を選定され、日本で初めて^{※3}の「シティチャージ」として、東京タワーの近くにソーラー充電スタンドを設置し、旅行者などからご好評をいただいています。今後も太陽光発電システムを活用したエネルギーソリューションの提供に取り組んでまいります。



椅子型「ソーラー充電スタンド」設置イメージ

- ※1 座面後方にUSBの給電ポートを搭載しています。充電に必要なケーブル類は付属していません。
- ※2 地表基準による同等品太陽電池セルの当社測定値。
- ※3 2015年7月21日の発表当時。東京都環境公社調べ。

東京都環境公社(東京都地球温暖化防止活動推進センター)プレスリリース
<https://www.tokyo-co2down.jp/page.jsp?id=6989>

【お問い合わせ先】

お客様：エネルギーソリューション事業本部 エネルギーシステム事業部
商品企画部 (0745) 63-3304

■ 外観



■ 構成(イメージ)

